

第7回 京都老舗体感ゼミナール®

2022年 **10月6日(木)・7日(金)**

2022年度の「京都老舗体感ゼミナール®」の日程が決まりました。

これまでに100人を超える数多くの経営者や後継者、さらには企業をサポートする税理士・弁護士、弁理士などの専門家などにご参加いただきました。開催ごとに様々なご意見や感想をいただきながら、毎回、内容をより充実させた企画を立てています。また、訪問する「老舗」も毎年、その年のテーマに沿って選択して交渉を進めております。

ちなみに2018年は源氏物語（1000年）、明治維新（150年）であったことから「宇治と伏見エリア」、2019年は下京区誕生140年のイベントに協賛したこともあり「旧下京区エリア」の老舗企業を訪問させていただきました。

ただ、2020年と2021年は新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みて開催を見合わせました。

この度、2022年の開講を決定しました。訪問先も大半が確定しました。

最初に訪問予定の「レストラン菊水」の本社は、四条川端の角地で、歌舞伎で有名な「南座」の真正面にあります。まず、大正時代に建設された6階建ての屋上から秋の京都の市街地を一望していただきます。目の前の鴨川も上流から下流まで見渡せますので、京都老舗ゼミナール®の開講にふさわしい場所と考えています。

また、訪問させていただく老舗の各リーダーには、継続やビジネスモデルの構築以外にコロナとの共生社会における考え方などについてもお話しいただく交渉をしています。そのため、新しいビジネスモデルや企業継承を考えるにあたって大変お役に立てるのではないのでしょうか。

新型コロナウイルス対策として、従来の20人定員を12人定員に、大型観光バスを利用することで移動に対するリスクヘッジなどにも対応させていただき、安心してご参加いただけるように準備を進めております。

是非ご参加へのご検討をお願い致します。

京都老舗体感ゼミナール® 開講の理由

中小企業経営の最終目標は“企業の存続”です。しかし、会社が生き続けることは並大抵ではありません。そのため、「何のために生き続けるのか」という「理念や存在価値」が企業存続の最低必要条件となってきます。

昨今、この“企業の存続”が困難になってきました。自社の経営資源を見直さなければならないうえに、変革期に合わせた事業モデルの構築と、後継者への承継・人材の育成が同時期に迫っているからです。大変革した時代において新しいビジネスモデルの構築をどのように模索すべきなのか、次の後継者をどのように選別していくべきなのか、という2つの課題に集約されだしています。その上に感染症が発生しているのですからなおさらでしょう。

そんな中、何百年も続いている老舗企業は、まさに“企業の存続”（ゴーイングコンサーン）のお手本として学ばせていただくべき智慧の宝庫です。商品やサービスの開発、品質維持の仕組み、生産技術の考え方、顧客対応力の継続性、さらには、組織運営からマーケティング、人材育成、後継者教育などに関して、数多くの情報、経験、知識が蓄積されているからです。



こうした老舗の歴代経営者の考え方などを、本場、本物、本人とダイレクトに接することで深く感じることが出来る体験型ゼミ「京都老舗体感ゼミナール®」を開講しております。少人数の講座ですので参加者同士の交流にもつながります。是非、ご参加をお待ちしております。

老舗が老舗として継続できる理由は、時代に対するベンチャー企業であるからですが、直接訪問されることで実感できるでしょう。

訪問予定先 10月6日(木) 午前10時 京都駅 集合予定



6日 レストラン菊水

大正5年に初代が瓦せんべいを生業として創業。美味しい西洋料理を食べてもらい、お客様を感動させたいと思い立ち、洋食店へと業態を変えられました。4代目 奥村洋史社長には、創業の原点に戻って明文化した「創業の精神」や、経営だけでなく、作る側（ふく調理士やソムリエの資格を持つ）の視点の両方を持つことのポイントなどをお話いただきます。



現在、訪問先様と調整中

6日 足立病院

民間の産婦人科病院の必要性を感じた初代が政府の補助を受け明治35年に創設され118年になります。出産だけでなく女性の一生に携わることができる病院を目指し、子育ての支援（保育園の開設）、思春期～老年期まで女性のライフステージにおけるヘルスケアをサポートされる体制を構築されてきました。7代目になる足立病院の畑山理事長から、病院のビジネスモデルの構築の仕方やコロナとの共生の仕方などをお話いただきます。



6日 炭屋（宿泊）

旅館としては創業110年程ですが、元来は江戸時代から鍛冶屋、茶室などを展開されてきたのが京都三大老舗旅館と呼ばれる炭屋旅館です。旅館に着くとすぐに若女将から本格的な茶室での「お茶事体験」をしていただきます。さらに、堀部寛子女将から「先人が守り続けてきたあべきこと」など、炭屋旅館の歴史について語っていただきます。その後、それぞれの部屋にて休憩いただき、京懐石のフルコースをいただきます。



【オプション】花柳界のお茶屋への訪問については状況を見ながら検討します。

受講者の声…

- ▶「老舗」と聞くと、伝統を守りつつ、先代の想いややり方を伝承し続けている家業、というイメージでしたが、そればかりではないと知り驚きました。
現代風にアレンジするも、根っこの部分を変えない、その根っこが何なのか、それをしっかりと捉え伝え続けていることが老舗の条件なのだと、身をもって感じました。また、その思いが従業員・関係者の方々にも浸透していなければ、本当の老舗ではないことも実感できました。
- ▶回を重ねるごとに自分の引出しの数も中身も増えている実感があります。何度も触れることで、確実に深みが増しているのも事実です。百聞は一見に如かず。更に、見るだけでなく触れ合って、話して、共有して、実践してみて体感することが大事だと感じました。
この体感したことを自分なりの言葉に置き換えて伝えていきたいという欲求が強くなっています。
- ▶皆さん伝統を守るため、いろいろとイノベーションをおこない現在に至っておられること敬服いたしました。やはり信用が第一。お客様のお役に立って初めて企業が存続することを学ばせていただきました。
- ▶今回は今までの自分を振り返ると共にこれからの自分が進むべき道を教えて頂いたゼミでした。今回教えて頂いたことを続け次の世代にバトンを渡せるようにします。
- ▶一般の京都老舗ゼミでは各訪問場所での見学、代表者からの直接のお話等、単なる観光では体験できない多くのことを直に学ぶことができ、また、参加メンバーの方々とも親しく交流させていただき充実した研修となりました。
- ▶自らの存在価値とは何か、どうすれば人様のお役に立てるのか。京都老舗体感ゼミナールは会社だけでなく自分自身に問いかける修行の場でもありました。

10月7日 (金)

現在、老舗様と調整中の為、訪問先に変更が生じることがあります。



7日 大西常商店

昭和初期に創業者大西常次郎氏によって建てられた京町家で、京扇子の製造卸・小売を営んでおられます。扇商として商売をする一方、町家で能の謡や浄瑠璃を嗜むこともあったそうです。2016年から4代目若女将として働く大西里枝さんに、100坪の歴史ある京町家を案内いただきながら、後継者になろうと感じたキッカケ、さらに、新商品開発や次世代へつなげる職人の育成など文化をつなぐお話などもしていただきます。

現在、訪問先様と調整中

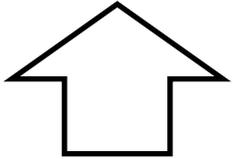


7日 江崎器械株式会社

満州からの引き上げ船の中でも子どもが次々と亡くなっていく姿を見て、「命を守る」仕事に関わりたいという思いで初代が医療器具卸業を創業。2代目はカイロプラクティック事業を日本に導入され、3代目は「健康」の前後左右をサポートする新たな価値創造に挑戦されています。事業承継の難しさや21世紀に向かっての戦略などを江崎健太郎社長からお話しいただきます。

10月7日(金) 午後5時30分ごろ 京都駅 解散予定

ダンコンサルティング(株)



FAX 03-3232-1198

お 申 込 書

定員になり次第締切となりますので、お早めにお申し込みください。
(定員 最大12名・1社2名様まで)

ふりがな		代表者名	
会社名		ご担当者	
所在地	〒		
電 話		ファックス	
Mail	@		

ご参加者

1	ふりがな	
	氏 名	
	役職	
2	ふりがな	
	氏 名	
	役職	

※京都駅集合(八条口 予定)／大型観光バス (MKバス) で移動

参 加 費 用	
経営者	¥200,000 (消費税別・1泊2日)
経営者ご同行者様 (後継者・幹部社員等)	¥180,000 (消費税別・1泊2日)

参加費用には、10月6日(午前10時15分)京都駅出発以降、7日の京都駅解散(午後5時30分予定)までのゼミナールにかかる費用(レストラン菊水、2日目の昼食、炭屋の宿泊・食事代、各種入場料など)などが含まれています。

【お問い合わせ】  **DAN PARTNERS** ダンコンサルティング株式会社 担当：小林

TEL: 03 (3232) 1409

Mail: kobayashi@dan-tcg.co.jp